

これまで  
の  
と  
り  
く  
み

【教育目標】「認め、気づき、変わる。」

【めざす子どもの学ぶ姿】 自らの課題解決に向けて、仲間と協働し、粘り強くとりくむ子ども

【学力向上 重点目標】 子どもと粘り強くとりくむ授業づくり～生徒同士の深い学び～

・めあて、スケジュール、ふりかえり、深い学びの実現にむけた積極的な対話活動の継続

・めあての質にこだわる ・一人一台端末(Chromebook)を活用した授業の実施

教科の結果より

①「正答率」…文章と図・グラフとを結びつけ、内容を解釈することに課題がある。

問題の趣旨(概要)	本校	全国
一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる。(グラフを選ぶ問題)	50.0	65.3
グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる。(グラフから必要な内容を読み取る問題)	64.7	76.9
目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。(集めた材料を取捨選択した意図の説明として適切なものを選ぶ問題)	77.9	81.4
文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。(図の役割の説明として適切なものを選ぶ問題)	23.0	36.3

②「無解答率」…説明したり、要約したりすることに課題がある。自分の考えを書くことはできるようになってきている。各教科でのふりかえりの記入(めあてに対し、自分の思いや日常生活と結び付けた内容、今後の改善を表記する)を日々行っている成果が出ている。(▼昨年度比割合増加、△昨年度比割合減少)

問題の趣旨(概要)	昨年度	今年度	全国
複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。(比較して説明する問題)	43.9	49.5 (▼5.6)	29.4
表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。(表現の効果についての説明文を書く問題)	20.1	26.0 (▼5.9)	15.0
目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる。(要約する問題)		16.7	8.4
話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。(自分の考えを書く問題)	28.8	15.7 (△13.1)	9.9

児童・生徒質問紙より (本校の数値/全国の数値)

・「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用している」

(68.2/89.0)→全国に比べて活用頻度が低い。有効的な活用方法の検討が必要。

・「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」(89.0/92.3)→全国とほぼ同割合で協働的な課題解決の機会を設けることができています。

全国学力・学習状況調査の結果より

これから  
の  
と  
り  
く  
み

・粘り強くとりくむ姿勢を育むために、スモールステップで達成感を積み重ね最後までとりくむように促す。

・自分の考えを持ち、それを表現することが難しいため、生徒同士の教え合いの場を設け、慣れさせる。

・基礎力の定着のために、計算の反復練習や、文章の趣旨(特に、重要である部分)を掴む読み取り練習などを取り入れる。

・図や表、グラフの効果について考え、文章の内容と結び付けて読み取る力を養う。

・一人一台端末(Chromebook)を活用した授業づくりの検討を行い、学校内での活用をすすめる。